

平成30年6月26日

「やまなし新事業応援ファンド」による投資案件を紹介します
～山梨県内で電力の小売を行う企業への投資～

「やまなし新事業応援ファンド」（正式名称：やまなし新事業応援投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、ヴィジョナリーパワー株式会社（甲府市、代表取締役 戸田 達昭）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

1. 投資内容

- (1) 投資日 平成30年6月26日
- (2) 投資額 5,000,000円
- (3) 投資形態 第三者割当増資の引受

2. ヴィジョナリーパワー株式会社の概要

- (1) 設立年月 平成29年11月
- (2) 資本金 14,000,000円（増資後）
- (3) 所在地 甲府市丸の内一丁目16番13号4F STERRA YAMANASHI
- (4) 代表者 戸田 達昭
- (5) 従業員数 2名
- (6) 事業内容 電力小売、ベンチャー企業支援ほか

- 代表者の戸田氏は、山梨大学卒業後、県内のベンチャー企業のさきがけとして自ら会社を起業しました。その後も、県内の起業・創業のサポートに尽力し、現在では、平成28年に設立された、県内ベンチャー企業サポートの仕組みである Mt.Fuji イノベーションエンジンの事務局長を務めています。
- 昨年、同人を中心に県内企業経営者や学識経験者が集い、県内経済を活性化する資金を捻出する仕組みとして、ヴィジョナリーパワー株式会社が設立されました。同社は、県内で電力小売を行い、得られた収益の一部を、地域経済の発展に資する事業等に充当することを事業コンセプトとしています。
- 当ファンドでは、事業の成長性、収益性も期待できることに加え、同社の事業コンセプトが「やまなし新事業応援ファンド」での投資案件として相応しいと判断し、同社への出資を決定しました。
- 同社の第三者割当増資を引き受けることで、資金面での支援を行うとともに、今後は、同社の成長発展に向けて「支援チーム（※）」との連携により積極的に各種支援を行ってまいります。

※支援チーム：県内中小企業の経営革新支援を目的に、山梨県が設置した「中小企業サポート連携拠点会議」内に組成された、創業・起業段階の支援に重点的に取り組むチーム

3. 当ファンドの内容

当ファンドは、山梨県、甲府・富士吉田両商工会議所と富士急行株式会社、株式会社山梨中央銀行及び山梨中銀経営コンサルティング株式会社の、県内民間企業3社の出資により設立された官民共同の投資ファンドです。

山梨県内に本社または事業所を有する企業を中心に、スタートアップ期やアーリーステージにある中小企業等に対する投資や育成を行うことにより、成長分野における創業や、成長分野への企業の参入を促進し、新産業の創出や雇用・県内総生産額の増加等による山梨県経済の活性化を図ることを主な目的としています。

当ファンドの管理・運営を行う無限責任組合員は、山梨中銀経営コンサルティング株式会社が務めています。

- (1) 設立日 平成26年8月26日
- (2) 出資総額 3億1千9百万円
- (3) 投資金額 1回あたりの投資額は概ね5百万円から3千万円（1社あたりの累積投資額の上限は出資総額の10%）
- (4) 投資対象 「山梨県産業振興ビジョン」に掲げる5つの産業分野、11の産業領域を重点対象分野とし、主にスタートアップ期やアーリーステージにある山梨県内に本社または事業所を置く企業を中心といたします。

以 上